

おおつ物語



池上曾根遺跡の立地

史跡指定40年を迎えた池上曾根遺跡 (2) ～池上曾根遺跡の立地～

なぜこの地に弥生時代の大集落が営まれたのでしょうか。現在は海岸線から約2km離れた平坦な平野が広がりますが、集落が繁栄した2,000年前はずいぶん様相が違います。まず当時の横尾川の分流と信太山からの小溪流が南東から北西方向へ幾筋も流れています。その流れは定まっておらず、大水のたびに流れが変わるという状況で、加えて点在する湧水により、湿地が広がっていました。そして河川に囲まれた部分に周囲から標高が数m高い微高地がありました。

この「水流に囲まれた微高地」が弥生人にとって魅力的な土地だったのです。微高地で水害の影響を受けにくい安定した土地に居をかまえ、周囲に広がる湿地帯で水稲栽培をおこないました。また河川を利用した水運により、山と海の両方の恵みを容易に利用することができたのです。

しかし徐々に、現在の横尾川本流（大津川）が他の流路よりも優勢となり、南部に水流が集中するようになり、古墳時代初頭には流れが完全に変わりました。弥生中期末以降、ムラが力を失っていく環境的要因と考えられます。

問合 生涯学習課（市役所3階）

表紙 ヴラばなし



自分たちの成人式、自分たちでつくろう！～成人式企画委員会



平成28年成人式企画委員会メンバー。左から、司会の長谷川隼平さん、盛田貴行さん、姫野瑠星さん、桑畑大地さん、瀧川嵩基さん、札野七海さん、中山渉さん

成人式企画委員会メンバーのコメント

「たくさんの方々のおかげで良い成人式になりました。これからは成人としての自覚を持って頑張ります」 中山渉 企画委員長

「慣れない司会で緊張しましたが、その分成長もできました。そして、自ら企画・運営をすることで、難しさを改めて感じました」 長谷川隼平さん



分たちが主役となる式典、任せにせず自分たちでつくろう

このスローガンのもと、成人式の企画運営に携わったのは、新成人を中心とした7人の「成人式企画委員会」のメンバー。昨年に統一して、若者らが自分たちで内容や運営方法を練りました。新成人に、これから的人生の目標を書いてもらう「ハタチのちかい！」の企画（右写真）も、委員会の発案で生まれたものです。

成人式企画委員会は来年も結成する予定です。企画運営に携わってみたい人は、生涯学習課（市役所3階）へお問い合わせください。思い出に残るすばらしい式典を自分たちの手でつくりましょう！

